

河川の水質異常 200 件 埼玉県



2003年度に県内の河川で発生した水質異常事故は200件であったことが、県のまとめで分かりました。油の流出などが減ったことから前年度より33件の減少となり、工場や事業場が原因の事故が61件と約3割を占めました。

事故の内訳は油類の流出88件(前年度比24件減)、魚の浮上60件(同増減なし)、着色水37件(同10件減)、その他15件(同1件増)となっています。事故の原因は工場排水のほか、自然現象や車両事故、不法投棄、コイヘルペスの発生などで、97件は原因不明でした。

具体的には2003年6月、戸田市の荒川処理センターに、金属メッキなどに使用される猛毒の化学物質「シアン」が流れ込み、荒川に流出した事故などがありました。

原因事業者が特定された場合、県は事業者名の公表、原状回復費用の請求などを行います。油の流出事故が減ったことについて、県水環境課は「工場での管理が徹底してきた成果」としています。

資料:2004年11月14日付 埼玉新聞 P.1

生活環境箇所 重田 郁美

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第20条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

